

2024 年 8 月 28 日

2023 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 北の国災害サポートチーム

代表者・役職名 氏名 代表 篠原 辰二

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

北海道内における災害支援ネットワーク構築事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

北の国災害サポートチームは、北海道における災害中間支援組織として 2019 年 10 月に結成しました。2016 年の台風 10 号災害や 2018 年の北海道胆振東部地震での支援活動において明らかになった課題から、平時には多様な支援機関との連携構築を進め、災害時の被災者支援活動の環境整備を図ること、またその活動を通じて培った経験や知見を北海道内外での支援活動に貢献することを目的として活動しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250 文字程度まで

当団体では、災害時に支援活動を行う多様な団体・機関との平時からの連携構築・促進と、被災者支援のあり方に関する普及・啓発を目的とし、様々な関係機関をゲストに招いた研修会や全道域のフォーラムを 2020 年より毎年開催しています。

特に北海道内各地の中間支援組織との連携強化に向け、地域特性や各団体の強みを理解し、災害発生時のスマートな支援体制の構築を目指した事業に取り組んでいます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300 文字程度まで

【被災者支援の多様な視点を学ぶきたサポ研修会】

行政・社協職員や NPO のスタッフを含め広く災害時の支援活動に興味・関心のある方を対象に、各回ごとにテーマ(生業、災害ボランティアセンター、食と栄養)を設け、各分野の支援活動について理解を深め、連携強化を目指した完全オンラインの研修会を期間中に 3 回実施。

【ひろがる被災者支援—災害時のコーディネーションを学ぼう】

申請時は中間支援組織の連携強化が主だったが、行政・社協職員との連携強化の必要性を感じ対象を拡大。各組織の持つ既存のネットワークを理解するためのワークショップ、災害時のコーディネーションの価値と効果や、災害時に機能する日常的な連携について学ぶ研修会を期間中に 3 回実施。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300 文字程度まで

【被災者支援の多様な視点を学ぶきたサポ研修会】

全 3 回で延べ 113 人が参加。テーマごとに多様な分野からの参加があり、災害ボランティアセンターをテーマとした回ではその機能を担う社協職員の参加が多く見られました。また、生業をテーマとした回をきっかけに農協とのつながりができ、災害時の連携を考える意見交換会を実施することができました。

【ひろがる被災者支援—災害時のコーディネーションを学ぼう】

全 3 回で延べ 57 人が参加。ワークショップを通して不足するネットワークの洗い出しができたほか、これまで少なかった道庁・道社協職員や報道機関に所属する記者の参加も得られました。事業を通じて道庁・道社協との協定締結の話題につながり、今秋開催予定のフォーラムでは官民協働による被災者支援について三者で話し合う時間を設けることになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

申請時に設定した3つの目標のうち、被災者支援コーディネーターの増加については達成できたものの、被災者支援にあたる中間支援組織の増加、会員が所在する地域の拡大については目標数値に届かず微増にとどまりました。研修会実施時には、主に道庁・道社協・NPOサポートセンターの協力のもと周知を行ってきましたが、当団体の北海道内の災害中間支援組織としての認知度が高まっていないことが原因の一つであると考えます。今後は、道庁・道社協との協定締結に向けた協議や全道域のフォーラムの開催を通して、団体の位置づけを確立させるとともに、道民への周知を図っていきます。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。



被災者支援の多様な視点を学ぶ きたサポ研修会

主催／北の国災害サポートチーム

日本では毎年のように全国各地で地震や豪雨等による災害が発生しています。災害発生時には、応急対応期から復興期にかけて、衣食住にまつわる環境整備や再建、コミュニティの再構築をはじめとし、保健医療、福祉、生業に関することなどさまざまな分野において支援が必要とされます。特に災害の種類や被害を受けた地域の地形等の特性に応じた被災者支援を展開するためには、行政や社会福祉協議会、NPOや企業等の機関の分野横断的な連携が求められています。

本研修では、各専門分野で活動する団体をゲストに迎え、過去の災害時の支援活動事例のほか、先般発生した令和6年能登半島地震における支援活動の現状についても取り上げます。多様な支援機関とその活動について理解し、各機関の強みを生かしたスムーズな支援体制の構築ができるることを目指します。

第16回

2024年
3月7日(木) 13:30 ~ 15:30

[テーマ] 生業支援

第17回

2024年
3月14日(木) 13:30 ~ 15:30

[テーマ] 災害ボランティアセンター運営

第18回

2024年
3月21日(木) 13:30 ~ 15:30

[テーマ] 食と栄養

参加対象

- 企業・企業組合・労働組合に所属する方
- NPO・協同組合・ボランティア団体に所属する方
- 行政、社会福祉協議会職員、災害時の支援活動に関心のある方

申込方法・申込締切

下記の二次元バーコードにアクセス(Peatix)し、お申し込みの上、チケットをご購入ください。お申し込みが難しい場合は、メール(info@kitasapo.net宛)にてご連絡ください。別途お振込み先等をご案内いたします。



※原則として、1アカウントでご参加いただけるのは1名のみです。同じご所属から複数でご参加いただく場合も、参加される方全員が個別にお申し込みをお願いいたします。

[申込締切] 各回5日前の17時まで

開催方法

Web会議システム(Zoom)を用いた
オンライン開催

参加費

1,000円／各回

(会員・非会員ともに)

※寄付チケット: 2,000円

※大学生(学部まで): 無料



後援
(予定)

北海道、社会福祉法人北海道社会福祉協議会

認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)、協同組合ネット北海道

プログラム

※若干、内容変更が生じる場合があります。ご了承ください。

第16回

【テーマ】生業支援

2024年3月7日(木) 13:30~15:30

産業と暮らしをまもるための支援
~2019年台風19号災害における農業支援から~



講師

福澤 信輔 氏

元長野県社会福祉協議会
(信州農業再生復興ボランティアプロジェクト実行委員会)

第17回

【テーマ】災害ボランティアセンター運営

2024年3月14日(木) 13:30~15:30

災害ボランティアセンター
~志をつなぐ、とどけるための機能~



講師

駒井 公 氏

社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター

写真提供：南富良野町社会福祉協議会

第18回

【テーマ】食と栄養

2024年3月21日(木) 13:30~15:30

いざという時どうする？あなたの食と栄養
～災害時の食・栄養支援 官民連携の仕組み作りに向けて～



講師

原 裕樹 氏

公益財団法人味の素ファンデーション
被災地復興応援担当事業 マネージャー

小林 道 氏

公益社団法人日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)リーダー
酪農学園大学農食環境学群 准教授

■お問い合わせ

北の国災害サポートチーム

064-0808 北海道札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園201号室
特定非営利活動法人北海道NPOサポートセンター内
TEL: 011-200-0973 FAX: 011-200-0974 E-mail: info@kitasapo.net



きたサポ ホームページ /



ひろがる 被災者支援

行政職員×社協職員×災害時に
中間支援機能を担うNPO等対象！



写真：平成30年北海道胆振東部地震支援第1回情報共有会議

きたサポが持つ ネットワークの共有

4月13日（土）10:00～16:30
北海道の災害中間支援組織である
北の国災害サポートチームが持つ
被災者支援ネットワークを学びます。

コーディネーション の価値と効果

5月27日（月）13:30～16:30
行政×社協×NPO等の多様な被
災者支援主体の連携による災害
支援の効果と災害中間支援組織
の機能について学びます。

災害時に機能する 日常的な連携

6月12日（水）13:30～16:30
災害時の多様な主体間の連携を
生み出す情報共有会議のあり方
や平時からのネットワークの必
要性について学びます。



一部のプログラムは
オンライン参加が可能です。



参加申込みはこちら



北の国災害サポートチームを構成する一部の団体は、令和6年能登半島地震の支援活動に従事しているほか、北海道庁及び北海道社協、全国災害ボランティア活動団体支援ネットワーク（JVOAD）等と連携を図りながらコーディネート活動を行っています。

北海道の
災害中間支援組織

北の国災害サポートチーム

011-200-0973

064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74

市民活動プラザ星園201号室 北海道NPOサポートセンター内

きたサポ



<https://kitasapo.net>

協賛：一般社団法人Wellbe Design

※この事業は、「真如苑 市民防災・減災活動公募助成事業」の採択を受けて実施します

後援：北海道、札幌市、社会福祉法人北海道社会福祉協議会・北海道災害ボランティアセンター、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）、NPO法人北海道NPOサポートセンター、NPO法人NPOサポートはこだて、NPO法人旭川NPOサポートセンター、NPO法人室蘭NPO支援センター